

総合評価落札方式(土木工事)に係る「自己採点方式」の実施について

1 自己採点方式とは

自己採点方式とは、発注者が定める評価項目について入札者が自己採点し、その得点とその他評価項目の得点を合わせた技術評価点及び入札価格をもとに算出した評価値が最も高い者について、技術資料等の審査を行うものです。

2 自己採点の対象

実績評価Ⅰ・Ⅱ型・地域維持型：すべての評価項目

技術評価Ⅰ・Ⅱ型：技術提案を除く評価項目

3 実施の時期

平成26年6月1日以降に公告する工事から実施

自己採点表の作成は、「手書きで記入」、「ファイルにより入力」の2通りあります。
「ファイルにより入力」する場合はこの方法で作成してください。

4 自己採点方式の概要

(1) 自己採点表の作成・提出について

- ① 入札者は「自己採点表」の様式を、県HP「広島県の調達情報」からダウンロードします。
- ② ダウンロードしたファイルから、公告文に記載された総合評価の型式のシートを選択します。
- ③ そのシートに、「商号又は名称」、及び公告文に添付された自己採点表（落札者決定基準別記様式1-〇）に記載のとおり、発注者、工事名、工事箇所、評価項目、評価内容、評価基準、配点等を入力します。
- ④ 入札者は、公告の別記「総合評価落札方式に関する事項」の留意事項、「自己採点表」に記載の評価基準に留意のうえ、各評価項目の自己採点を行い、「自己採点表」の自己採点欄に記入します。
- ⑤ 作成した「自己採点表」を技術資料の一部として提出します。 (別紙1：提出イメージ参照)

(2) 発注者の審査及び落札者の決定

- ① 提出された「自己採点表」と「入札価格」をもとに入札者全員の評価値※を算出します。
(※技術評価Ⅰ・Ⅱ型は、技術提案の広島県採点分も含みます。)
- ② 最も高い評価値の者のみ技術資料を審査します。 (別紙2：審査後イメージ参照)
- ③ 自己採点表の得点に誤りがあった場合、以下の基準に応じて評価値を決定します。
 - ・過大評価（技術資料審査の結果、得点が下がる場合）…1/2点とする（審査後の得点×1/2）
 - ・過小評価（技術資料審査の結果、得点が上がる場合）…修正しない（「自己採点表」における得点そのまま）
- ④ 審査の結果、自己採点が正しかった場合、自己採点表に誤りがあった場合でも最高評価値の入札者の変更がない場合は、当該入札者を落札候補者として決定します。最も高い評価の者が変動する場合、再度最も高い評価の者の審査を行い、以降決定するまで繰り返します。
- ⑤ ④で決定した落札候補者について、（低入札価格調査、）資格要件の確認を行い、総合評価審査委員会等を開催し、落札者を決定します。

(3) その他留意事項

-
- ① 評価項目ごとの得点は、 少数第1位止め（第2位を四捨五入）とします。
 - ② 工事成績の得点については、 工事3件の平均点を少数第1位止め（第2位を四捨五入）で算出した後に、 評価項目の得点の計算を行ってください。
 - ③ 自己採点方式では、 原則として提出された「自己採点表」等をもとに最高評価値の入札者が提出した技術資料のみを審査し、 評価値が2位以下の者については審査を行わないため、 公表する技術評価点及び評価値は正しいものとは限りません。
 - ④ 自己採点の結果が未記入（内容が確認できない場合を含む）の項目については0点とし、 また、「自己採点表」が未提出の場合は入札を無効とします。
 - ⑤ この自己採点表の未提出あるいは記載内容によって、 以降の入札の指名等について不利益な取り扱いを行うことはありません。

手書きで記入の場合

別紙1：提出時イメージ

別記様式第1-1号

公表日 平成 年 月 日

記入しない

総合評価落札方式（実績評価型）

落札者決定基準

記入

自己採点表

商号又は名称：

発注者： 広島県〇〇建設事務所〇〇支所

〇〇建設株式会社

留意事項・評価基準

を参考に自己採点

※公告添付の自己採点表に直接書き込んでください。

自己採点（入札者欄）に各評価項目の自社の点数を記入すること。

工事名	〇〇〇〇工事						
工事場所	広島県〇〇市〇〇						
評価項目	評価内容	評価基準	配点	自己採点 (入札者)	評価結果 (発注者)		
1 企業の施工能力	(1) 過去15年間の同種・同規模工事の施工実績 同種・同規模工事：〇〇工事	①当該発注工事の場所と同一の市町（旧市町村を含む）で、広島県関係発注工事又は中国地方整備局発注工事の実績あり ②上記以外で公共発注機関の実績あり ③実績なし	2.0 1.0 0.0	2.0			
	(2) 過去4年間の工事成績3件の平均点 (対象工事は当該業種の広島県関係又は中国地方整備局発注工事に限る) ※ 3件に満たない場合は、残りの件数全てを65点とする	①85点以上 ②65点以上 85点未満 (6.0 × (平均点 - 65) / 20) ③65点未満	6.0 6.0 ~0.0 0.0	4.8	84 81 78		
	(3) 過去2年間に当該業種で優良建設業者の表彰に該当	①該当あり ②該当なし	1.0 0.0	1.0			
	小計		9.0	7.8			
	2 設置予定技術者的能力	(1) 主任（監理）技術者の保有する専門資格 ①1級〇〇〇〇技術者 ②2級〇〇〇〇技術者 ③資格なし					
		(2) 過去8年間の工事成績3件の平均点 (対象工事は当該業種の広島県関係又は中国地方整備局発注工事に限る) ※ 3件に満たない場合は、残りの件数全てを65点とする	①85点以上 ②65点以上 85点未満 (3.0 × (平均点 - 65) / 20) ③65点未満	3.0 3.0 ~0.0 0.0	1.8	75 80 76	
		(3) 過去15年間の主任（監理）技術者の同種・同規模工事の施工実績の有無 同種・同規模工事：〇〇工事	①広島県関係発注工事又は中国地方整備局発注工事の実績あり ②その他の公共発注機関の実績あり ③実績なし	2.0 1.0 0.0	2.0		
		(4) 過去15年間の主任（監理）技術者の同一業種の施工経験工事の従事役職	①監理技術者または主任技術者 ②現場代理人 ③その他	1.0 0.5 0.0	1.0		
		(5) 総合教育（C P D）の取組み (建設系C P D協議会加盟団体が運営する制度における前年度1年間(4/1~3/31)の学習実績)	①20単位以上取得 ②10単位以上20単位未満取得 ③10単位未満取得、単位なし	1.0 0.5 0.0	0.5		
		(6) 主任（監理）技術者が過去2年間に当該業種で優秀技術者の表彰に該当	①該当あり ②該当なし	1.0 0.0	0.0		
		小計		8.0	5.3		
3 地域の精通性	(1) 地域内における本店の有無	①(I : 事務所（支所）管内、II : 市町内、III : 旧市町（区）内) に本店あり ②(I : 県内、II : 事務所（支所）管内、III : 市町内) に本店あり ③上記地域内に本店なし	1.0 0.5 0.0	1.0	1.0		
		小計		1.0	1.0		
4 地域貢献の実績	(1) 過去1年間の「広島県公共土木災害支援制度」に基づく活動実績の有無（土木一式のみ） (2) 過去5年間のボランティア活動の実績の有無（マイロード・システム、ラブリバースト制度認定） (3) 過去5年間の除雪等業務委託の受注実績の有無（除雪、凍結防止剤散布を含む広島県及び特例条例移譲路線の市町発注業務に限る。）	①支援団体として認定され、情報収集活動の実績あり ②活動実績なし	1.0 0.0	1.0			
		①認定され、活動実績あり ②活動実績なし	1.0 0.0	1.0			
		①受注実績あり ②受注実績なし	1.0 0.0	1.0			
	小計		3.0	3.0			
5 指名除外の状況	(1) 過去1年間ににおける指名除外措置の有無	①該当あり ②該当なし	-1.0 0.0	0.0	0.0		
		小計		-1.0	0.0		
		合計		21.0	17.1		
標準点（基礎点）		100点					
加算点		(価格以外の評価点の合計を30点換算)					
技術評価点		標準点（基礎点）+加算点					
評価値		(技術評価点／入札価格(千円)) × 1,000					

ファイルで入力の場合

別紙1：提出時イメージ

別記様式第1-1号

公表日	平成 年 月 日
-----	----------

記入しない

自己採点表

総合評価落札方式（実績評価型） 落札者決定基準

記入

商号又は名称：〇〇建設株式会社

発注者：広島県〇〇建設事務所〇〇支所

自己採点（入札者欄）に各評価項目の自社の点数を記入すること。

工事名	〇〇〇〇工事	公告添付の自己採点表のとおり記載					留意事項・評価基準を参考に自己採点				
工事場所	広島県〇〇市〇〇										
評価項目	評価内容	評価基準	配点	自己採点（入札者）			評価結果（発注者）				
1 企業の施工能力	(1)過去15年間の同種・同規模工事の施工実績 同種・同規模工事：〇〇工事	①当該発注工事の場所と同一の市町（旧市町村を含む）で、広島県関係発注工事又は中国地方整備局発注工事の実績あり	2.0	2.0							
		②上記以外で公共発注機関の実績あり	1.0								
		③実績なし	0.0								
	(2)過去4年間の工事成績3件の平均点 (対象工事は当該業種の広島県関係又は中国地方整備局発注工事に限る)	①85点以上	6.0				4.8	各工事成績点 84	81		
		②65点以上 85点未満 (6.0 × (平均点 - 65) / 20)	6.0 ~0.0								
	※ 3件に満たない場合は、残りの件数全てを65点とする	③65点未満	0.0								
	(3)過去2年間に当該業種で優良建設業者の表彰に該当	①該当あり	1.0				1.0				
		②該当なし	0.0								
	小 計		9.0				7.8				
2 配置予定技術者の能力	(1)主任（監理）技術者の保有する専門資格	①1級〇〇〇〇技術者									
		②2級〇〇〇〇技術者									
		③資格なし									
	(2)過去8年間の工事成績3件の平均点 (対象工事は当該業種の広島県関係又は中国地方整備局発注工事に限る)	①85点以上	3.0	1.8							
		②65点以上 85点未満 (3.0 × (平均点 - 65) / 20)	3.0 ~0.0								
	※ 3件に満たない場合は、残りの件数全てを65点とする	③65点未満	0.0								
	(3)過去15年間の主任（監理）技術者の同種・同規模工事の施工経験の有無 同種・同規模工事：〇〇工事	①広島県関係発注工事又は中国地方整備局発注工事の実績あり	2.0				2.0				
		②その他の公共発注機関の実績あり	1.0								
		③実績なし	0.0								
価格以外の評価点	(4)過去15年間の主任（監理）技術者の同一業種の施工経験工事の従事役職	①監理技術者または主任技術者	1.0				1.0				
		②現場代理人	0.5								
		③その他	0.0								
	(5)継続教育（CPD）の取組み (建設系CPD協議会加盟団体が運営する制度における前年度1年間(4/1～3/31)の学習実績)	①20単位以上取得	1.0								
		②10単位以上20単位未満取得	0.5				0.5				
		③10単位未満取得、単位なし	0.0								
	(6)主任（監理）技術者が過去2年間に当該業種で優秀技術者の表彰に該当	①該当あり	1.0				0.0				
		②該当なし	0.0								
	小 計		8.0	5.3							
	小 計		1.0	1.0							
3 地域の精通性	(1)地域内における本店の有無	①(I : 事務所（支所）管内、II : 市町内、III : 旧市町（区）内) に本店あり	1.0								
		②(I : 県内、II : 事務所（支所）管内、III : 市町内)に本店あり	0.5				1.0				
		③上記地域内に本店なし	0.0								
	小 計		1.0	1.0							
	小 計		1.0	1.0							
4 地域貢献の実績	(1)過去1年間の「広島県公共土木災害支援制度」に基づく活動実績の有無（土木一式のみ）	①支援団体として認定され、情報収集活動の実績あり	1.0				1.0				
		②活動実績なし	0.0								
	(2)過去5年間のボランティア活動の実績の有無（マイロード・システム、ラブリー制度認定）	①認定され、活動実績あり	1.0				1.0				
		②活動実績なし	0.0								
	(3)過去5年間の除雪等業務委託の受注実績の有無（除雪、凍結防止剤散布を含む）広島県及び特例条例移築路線の市町発注業務に限る）	①受注実績あり	1.0				1.0				
5 指名除外の状況	小 計		3.0	3.0							
	(1)過去1年間における指名除外措置の有無	①該当あり	-1.0				0.0				
		②該当なし	0.0								
	小 計		-1.0	0.0							
	合 計		21.0	17.1							
標準点（基礎点）		100点									
加 算 点		(価格以外の評価点の合計を30点換算)									
技 術 評 価 点		標準点（基礎点）+加算点									
評 価 値		(技術評価点/入札価格(千円)) × 1,000									

別紙2：審査後イメージ

別記様式第1-1号

公表日 平成年月日

総合評価落

○過大評価
～審査の結果、得点が下がる場合～
「審査後の点」×1/2とする
・自己採点：2.0点
・県の審査：1.0点
→ 評価結果：0.5点 (1.0×1/2)

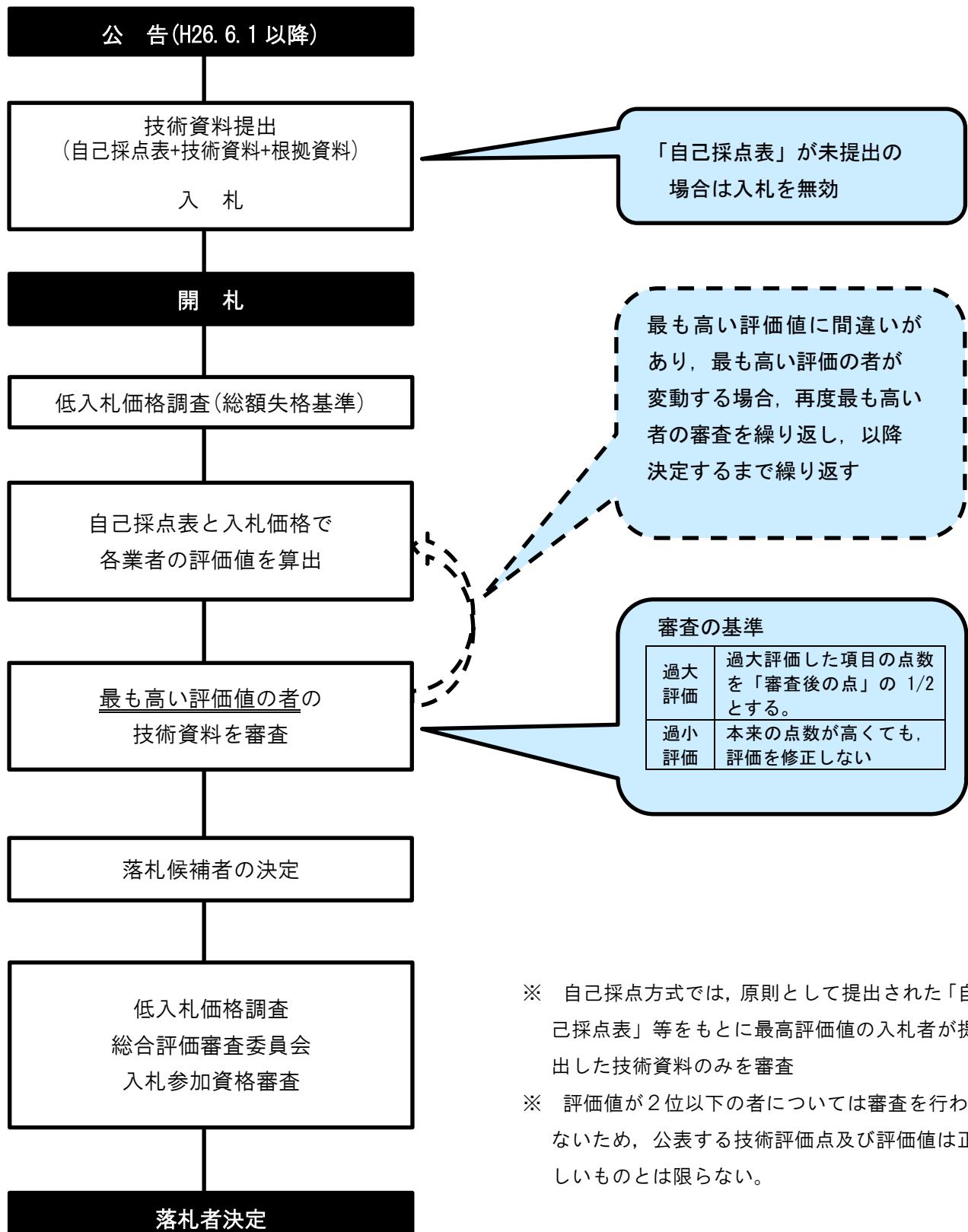
自己採点表

務所〇〇支所

自己採点（入札者欄）に各評価項目の自社の点数を記入

工事名	〇〇〇〇工事				自己採点（入札者）	評価結果（発注者）
工事場所	広島県〇〇市〇〇					
評価項目	評価内容	評価基準	配点	各工事成績点	自己採点（入札者）	評価結果（発注者）
1 企業の施工能力	(1)過去15年間の同種・同規模工事の施工実績 同種・同規模工事：〇〇工事	①当該発注工事の場所と同一の市町（旧市町村を含む）で、広島県関係発注工事又は中国地方整備局発注工事の実績あり ②上記以外で公共発注機関の実績あり ③実績なし	2.0 1.0 0.0	4.8	2.0	0.5 <1.0>
	(2)過去4年間の工事成績3件の平均点 (対象工事は当該業種の広島県関係又は中国地方整備局発注工事に限る)	①85点以上 ②65点以上 85点未満 (6.0 × (平均点-65) / 20) ③65点未満	6.0 6.0 ~0.0 0.0	84 81 78	4.8	4.8
	※ 3件に満たない場合は、残りの件数全てを65点とする					
	(3)過去2年間に当該業種で優良建設業者の表彰に該当	①該当あり ②該当なし	1.0 0.0		1.0	1.0
	小計		9.0		7.8	6.3
	(1)主任（監理）技術者の保有する専門資格	①1級〇〇〇〇技術者 ②2級〇〇〇〇技術者 ③資格なし				
	(2)過去8年間の工事成績3件の平均点 (対象工事は当該業種の広島県関係又は中国地方整備局発注工事に限る)	①85点以上 ②65点以上 85点未満 (3.0 × (平均点-65) / 20) ③65点未満	3.0 3.0 ~0.0 0.0	75 80 76	1.8	1.8
	※ 3件に満たない場合は、残りの件数全てを65点とする					
	(3)過去15年間の主任（監理）技術者の同種・同規模工事の施工実績の有無 同種・同規模工事：〇〇工事	①広島県関係発注工事又は中国地方整備局発注工事の実績あり ②その他の公共発注機関の実績あり ③実績なし	2.0 1.0 0.0		2.0	2.0
	(4)過去15年間の主任（監理）技術者の同一業種の施工経験工事の従事歴	①監理技術者または主任技術者 ②現場代理人 ③その他	1.0 0.5 0.0		1.0	1.0
2 配置予定技術者の能力	(5)継続教育（C P D）の取組み (建設系C P D協議会加盟店体が運営する制度における前年度1年間(4/1~3/31)の学習実績)	①20単位以上取得 ②10単位以上20単位未満取得 ③10単位未満取得、単位なし	1.0 0.5 0.0		0.5	0.5 <1.0>
	(6)主任（監理）技術者が過去2年間に当該業種で優秀技術者の表彰に該当	①該当あり	1.0		0.0	0.0
	小計		0		5.3	5.3
	(1)地域内における本店の有無		0		1.0	1.0
			5			
			0		1.0	1.0
3 地域の精通性	(1)地域内における本店の有無		0		1.0	1.0
			0		1.0	1.0
			0		1.0	1.0
	小計		3.0		3.0	3.0
4 地域貢献の実績	(1)過去1年間の「広島県公共土木災害支援制度」に基づく活動実績の有無（土木一式のみ）	②活動実績なし	0.0		1.0	1.0
	(2)過去5年間のボランティア活動の実績の有無（マイロード・システム、ラブリバーアイド認定）	①認定され、活動実績あり ②活動実績なし	1.0 0.0		1.0	1.0
	(3)過去5年間の除雪等業務委託の受注実績の有無（除雪、凍結防止剤散布を含む広島県及び特例条例移譲路線の市町発注業務に限る。）	①受注実績あり ②受注実績なし	1.0 0.0		1.0	1.0
	小計		3.0		3.0	3.0
5 指名除外の状況	(1)過去1年間における指名除外措置の有無	①該当あり ②該当なし	-1.0 0.0		0.0	0.0
	小計		-1.0		0.0	0.0
	合計		21.0		17.1	15.6
標準点（基礎点）	100点					
加算点	(価格以外の評価点の合計を30点換算)					
技術評価点	標準点（基礎点）+加算点					
評価値	(技術評価点/入札価格(千円)) × 1,000					

総合評価「自己採点方式」のフロー



- ※ 自己採点方式では、原則として提出された「自己採点表」等をもとに最高評価値の入札者が提出した技術資料のみを審査
- ※ 評価値が2位以下の者については審査を行わないため、公表する技術評価点及び評価値は正しいものとは限らない。